

# 第24回近畿薬剤師学術大会のプログラム

座長からのここがイチ押し！ 見どころ・聴きどころ

分科会③ 14:00～17:00

専門医療機関連携薬局・地域連携薬局

基調講演

(兵庫県薬剤師会副会長 大澤 泰輔)

改正薬機法での薬局の定義では「調剤業務を行う場所」に加え「薬剤及び薬学的知見に基づく指導の業務を行う場所」が追加され、すべての医薬品を扱うという薬局の姿が法律で規定された。そのために今後の薬局のあるべき姿に向けて取り組む手段のひとつが地域連携薬局・専門医療機関連携薬局である。そこを目指す薬局・薬剤師に向けて、元厚生労働省保険局医療課薬剤管理官であった日本薬剤師会専務理事 磯部総一郎が熱く語る！！

専門医療機関連携薬局について

シンポジウム

(兵庫県薬剤師会常務理事 岡本 禎晃)

兵庫県薬剤師会と兵庫県病院薬剤師会が共同で取り組んでいます「先進的薬剤業務推進委員会」について朝来医療センターの辻井聡容先生に具体的な内容を解説いただきます。薬剤師連携でお困りの先生方のご参考になると思います。また、専門医療機関連携薬局をとお考えの先生方には、祥漢堂薬局の吉留実慧子先生に、ご自身のご経験から、取得までのご苦労についてお話いただきます。

地域連携薬局について

シンポジウム

(兵庫県薬剤師会常務理事 藤本 高弘)

2015年に策定された「薬局ビジョン」を背景に2021年8月から地域連携薬局の認定制度がスタートしました。薬機法改正により薬局、薬剤師の機能にスポットライトがあてられ、ひとりでも多くの薬剤師が表舞台に立ち、個々が有する知的財産を集約し、集合知として多職種の方に発信、行動していくことが急務です。地域住民を真ん中にすべての薬局が健康サポート機能を持った地域連携薬局としてエントリーでき、また令和の時代に求められる薬局薬剤師の在り方のヒントを3人の演者からそれぞれの立場から経験談を交えアドバイスをいただきます。